

千葉大学教育学部附属教員養成開発センター

センターの概要

教員養成開発センター（平成25年4月旧教育実践総合センターを発展的に改組）は、教員養成ならびに教員研修に関わる研究・教育、事業を行うことを目的としている。

- (1)現職教員研修に関する事業
- (2)教育研究グローバル化推進に関する事業
- (3)ICT教育研究に関する事業
- (4)地域教育貢献に関する事業
- (5)全学教職支援に関する事業
- (6)産官学連携教育推進に関する事業
- (7)その他

の7つの内容を中心に、プロジェクトを立ち上げ、学部教員や関係機関と連携しながら活動を進めている。

併せて、千葉大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）の運営も担っている。

住 所 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

Tel/Fax 043-290-2696

URL https://www.education.chiba-u.jp/f_Top/center

構成員：（令和6年1月現在）

センター長（専任）	教 授	笠井孝久
副センター長（専任）	教 授	松井 聰
副センター長（専任）	准教授	磯邊 聡
専任教員	教 授	大野英彦
	教 授	伊藤裕志
	准教授	國吉浩二
	准教授	土屋明子
	准教授	森 美香
	特任准教授	生稲 勇
	特任助教	小牧 瞳
客員教授		野口敏樹
		植草伸之
事務補佐員		鈴木由里子
		石松京子
		野口磨美

年間活動状況(令和5年度)

(1) 現職教員研修に関する事業

◎長期研修生(委託研究生)への支援

- ・委託研究生の研究支援の一環として講義「教育研究方法論(必修)」[90分×15回(研究発表会を含む)]を開設
内容/長期研修の進め方, 人間関係づくりエクササイズ, 教育研究の分析演習(森), 研究における倫理について(磯邊), 教職員研修の価値と展望について考える(伊藤), 学校というフィールドとデータの扱い方(笠井), 教育技術の構造(國吉), 学校における実践と研究(松井), アクションリサーチの実際(土田), 知っておきたい教育法規(大野), 教員等育成指標に鑑みた研究への取組(土屋), 「不登校」と「長期欠席」は増加したのか(保坂)
- ・委託研究生の支援活動の一環として教育臨床研修生向けに「教育臨床プログラム」を提供
内容/課題研究(笠井), 学校臨床心理学(笠井), 教育相談事例研究(笠井), 臨床心理学概論(磯邊), 高度教育実践研究(大野), 子供の抱える困難の理解と支援(國吉, 森), 教育相談実習(水・木・金:笠井)
- ・委託研究生研究発表会(R5.7/13, R6.2/2)
委託研究生個々の教育研究の成果を発表し共有する。
- ・委託研究生にも参加を呼びかけている学部・大学院授業
高度教育実践研究(大野), 実践から学ぶ教職論(國吉, 大野, 伊藤, 松井, 土屋, 森), 実践に活かす教職論(土屋, 大野, 伊藤, 松井, 國吉, 森), 学校教育実践研究Ⅰ(土屋, 大野, 伊藤, 松井, 國吉, 森), 学校教育実践研究Ⅱ(國吉, 大野, 伊藤, 松井, 土屋, 森)
- ・令和6年度委託研究生向け説明会(千葉県R6.1/31, 千葉市R6.1/26)

◎免許法認定講習の実施運営

- ・千葉県教育委員会に協力して以下の2講習(会場は千葉大学)をセンターが担当した。
生徒・進路指導論(國吉), 教育相談の理論と方法(笠井, 磯邊, 生稲, 重)

◎「令和5年度NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業」の実施運営(貞廣, 笠井, 大野, 伊藤, 松井, 磯邊, 國吉, 土屋, 森)

- ・ミドルリーダー養成研修
「行政のリーダー教育長に学ぶ」
田中庸恵(市川市教育長), 林 充(市原市教育長), 井上 功(白井市教育長), 内田淳一(山武市教育長), 田中弘美(流山市教育長), 八斗孝之(千葉市教育委員会教育指導課長), 細川義浩(千葉県教育庁ICT教育推進担当課長)
- ・千葉大学教職大学院シンポジウム
「デジタル時代に求められる新たな教育」
基調講演 富塚昌子(千葉県教育委員会教育長)
- ・千葉大学教職大学院公開講座
「教育の最新事情 ~現代的教育課題への具体的取組~」
天笠 茂(千葉大学名誉教授), 保坂 亨(千葉大学名誉教授), 土田雄一(千葉大学グランドフェロー), 小林聡子(千葉大学大学院国際学術研究院), 貞廣斎子, 笠井孝久, 大野英彦, 磯邊 聡, 丹間康仁, 西口雄基, 八木澤史子

(2) 教育研究グローバル化推進に関する事業

◎ツイン型学生派遣（ツインクル）プログラムの開発と実施（松井）

平成24年度に、グローバルな環境で教員養成を行うプログラムとしてツインクルプログラムを開発した。本プログラムは教育の学生と理系の学生が組み、科学をベースとした教材・授業開発を行い、ASEAN諸国の学校において教員体験をするインターンシッププログラムである。

このプログラムでの体験は、学生にグローバルな視点を持たせるだけでなく、様々なバックグラウンドを持つ子供たちへの教育的対応能力を身に着けるのに役立っている。すなわちグローバル化が進む教育現場で即戦力として活躍する素地を身に着けさせるものである。すでに派遣・受入れ交流総数は学生交流のみでも1,000名を超え、ASEAN諸国の小中高校での実施授業総数は約500講義、受講したASEAN児童・生徒のべ人数は20,000人を超えている。

この経験を活かし、グローバル教員インターンシップ実施マニュアルを作成した。また、ASEAN7か国、15大学および33校の小中高校を含めた文理融合教育体制を構築した。

コロナ禍によって、中断を余儀なくされていたが、令和4年度に再開し、令和5年度も6月からツインクルプログラムを実施、2月にフィリピン道徳授業プログラムを実施する予定。

◎「グローバルフィールドワークⅠ」の新規コース開発

海外での調査研究活動、教育実践、教育関係施設の訪問等、海外をフィールドとして実践的な学びや調査研究をする科目の一つ「グローバルフィールドワークⅠ」において新規コース（台湾双方向交流プログラム）を開設して2～3月に実施する予定。

(3) ICT教育研究に関する事業

◎附属小学校において、デジタル・ファブリケーションを活用した授業を実施（藤川）

◎附属中学校の生成AI活用研究に協力（藤川）

◎千葉市教育センターのデジタル・シティズンシップ教育に関する研究に協力（藤川）

(4) 地域教育貢献に関する事業

◎県教委及び高校との協定に基づく高大連携「教育基礎講座」の企画運営（國吉、笠井、土屋、大野、松井）

・千葉女子高校、安房高校、我孫子高校、君津高校の「教員基礎コース」の生徒向けに「教育基礎講座」（千葉女子は90分×7回、安房は90分×6回、我孫子は90分×1回、君津は90分×3回）を開設、その企画運営を担当（國吉、土屋、大野、松井、笠井）

（授業担当 大野、伊藤、松井、笠井、磯邊、國吉、土屋、森）

・「教員基礎コース」等交流学習会の実施〔11/26〕（國吉、大野、伊藤、笠井、松井、土屋、森）

・成東高校特設科目「教育基礎」（90分×2回）（授業担当 大野、森）

◎県教委及び高校との協定に基づく高大連携「基礎教養講座」の企画運営（國吉、土屋、大野、伊藤）

・千葉東高校、木更津高校の生徒向けに、おもに当該高校を会場にした90分×14回の講義の運営

◎県教委との協定に基づく県内遠隔地公開講座の企画運営（國吉、大野、松井、土屋）

・長生高校を会場に公開講座（90分授業2コマ）を実施、その企画・実務を担当（土屋）

◎学校訪問バスツアー（県教委から委託された教員確保対策事業の一部）の企画運営（大野、國吉、土屋、森）

・館山市立北条小学校、同館山中学校、山武市立日向小学校、ホテルポートプラザちば、県総

合教育センターを訪問〔9/5, 6（1泊2日君津亀山青少年自然の家泊）〕。学部1，2年生を中心とした希望者に，教育活動を体験する，教員の研修，福利厚生について学ぶ機会を設けた。

- ・大多喜町立大多喜小学校〔11/22〕，神崎町立神崎小学校〔11/28〕，香取市立瑞穂小学校〔11/28〕を訪問。学部1，2年生を中心とした希望者に教育活動を体験する機会を設けた。

◎学生の教員志望・非志望に関する調査研究と報告会の実施（小牧，藤川，笠井，大野）

- ・教育学部の学部1年生から4年生までを対象に，教員を志望する学生と，教員を志望しないまたは検討中の学生にインタビュー調査を実施。教員志望・非志望を決定づける要因の仮説を構築。仮説をもとに，教育学部の学部1年生から4年生までのすべての学生を対象に，教員志望・非志望を決定づける要因の構造を明らかにするためのアンケート調査を実施した。
- ・3月に千葉県教育委員会に対し上記で明らかになった教員志望・非志望を決定づける要因の構造と教職を目指す学部生への支援のあり方を報告する予定。

(5) 全学教職支援に関する事業

◎教育学部以外の教員免許状取得を目指す学生への支援を行っている。

主担当授業は，「現代教職論」（1年後期必修），「生徒指導・教育相談・進路指導」（2－4年必修），「教職実践演習」（4年後期必修）である。（植草，富樫，佐瀬，菱木，重，生稲）

「生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ及びⅡ」では，さまざまな学部，学年の学生が受講していることを活かし，人間関係づくりのアクティビティやディスカッションによる交流を増やしたことでダイバーシティの視点から教育現場について考えを深められたという感想を多く得られている。また，教育現場から現職の教員にゲストティーチャーとして講師を務めてもらい教育現場の実態や，災害時における防災士の視点からみた学校について学び，学生たちから大変好評であった。

「教職実践演習」は例年4名の教員で分担し，グループ演習を行っている。15回の講義のうち4回以上現職の教員を招き，学生と交流してもらっている。今年度は，外国籍を持つ生徒への関わりについて国際教養学部の先生に来ていただいた回や現役教員でありながら防災士の資格を取得した中学校教員，一度企業に勤めた後に教員になった若手教員との交流などが，特に学生たちにとって大きな経験となっている。なお，園芸学部の学生は通学に時間と交通費を要することから，必修科目である教職実践演習については別途，西千葉校舎での授業内容を反映させながら園芸学部で授業を開講した。

そのほか，教育実習に出る前に，指導案の書き方，模擬授業等を中心に「教育実習直前サポート講座」，教員採用試験を受験する学生を対象に「教員採用試験事前学習会」を開催。自己PRや志望動機の書き方をはじめ，面接練習など，学生の希望に沿った内容を行い，その後，二次試験に向けて小論文や面接，模擬授業への対応を指導した。

平成28年度より，教職相談室（全学教職センター主催）を開設しており，採用試験や教育実習についての悩み，メンタル面での相談などを対応している。今年度は15件の相談があった。（生稲，富樫）

(6) 産官学連携教育推進に関する事業

◎千葉市，JFEスチール等と連携し，小学生向け起業家教育プログラム「西千葉子ども起業塾」を対面で実施（藤川）

(7) その他

◎教員養成・研修に係る実務担当者ワーキンググループ

- ・千葉県教育庁，千葉市教育委員会の関係機関・部署と教員の養成，採用，研修に関わる事項について協議を行う。

実施日 R5. 5/18, 7/13, 9/7, 11/9, R6. 1/25, 3/14

(参加者：敬愛大学教授，千葉県教育庁教育振興部教職員課，同学習指導課，千葉県総合教育センター研修企画部，千葉県子どもと親のサポートセンター支援事業部，同教育相談部，千葉市教育委員会学校教育部教育改革推進課，千葉市教育センター，千葉大学教員)

◎千葉大学教育学部附属教員養成開発センター運営協議会

◎教育相談，学習方法に関する学校支援

- ・教育相談活動，教育相談学校関係者へのコンサルテーション，教育相談関係者へのスーパービジョンの実施（笠井，磯邊）

◎附属学校園サポートチームとして，附属学校園の教職員にコンサルテーションを行う（笠井，磯邊）

◎杉原千畝命のビザ記念講演会（R5. 10/18）

- ・教育研究グローバル化推進に関する事業の一環（国際交流委員会の活動）として実施。関連展示と杉原まどか氏の記念講演会（松井，大野，伊藤，國吉，土屋，森）

◎学部，大学院での授業（略）

(参 考) 外部資金導入状況

a) 令和5年度NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業

- ・ミドルリーダー養成研修（大野，貞廣，笠井，伊藤，松井，磯邊，國吉，土屋，森）
300,000円
- ・千葉大学教職大学院シンポジウム（國吉，貞廣，笠井，大野，伊藤，松井，磯邊，土屋，森）
300,000円
- ・千葉大学教職大学院公開講座（伊藤，貞廣，笠井，大野，松井，磯邊，國吉，土屋，森）
300,000円

b) 千葉大学教育学部・附属学校連携研究

- ・個別最適な学びを取り入れた道徳授業の在り方（森，藤川，土田，附属中教員 他）
30,000円
- ・子どもたちのグローバルな視野を広げる教科横断的な学習の実践
—生活科を核にしたPBL学習の基盤づくりとして—（伊藤，森，附属小教員）
25,000円
- ・附属中学校における教育相談体制の充実（7）（磯邊 他）
15,000円
- ・様々な理由で教室にいられない児童に対する「自学室」を活用したサポート3（笠井）
30,000円

研究活動状況

磯邊 聡 (臨床心理学)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	磯邊 聡	単著	学校教育相談のあり方とこれから	千葉大学教育実践研究, vol27, 印刷中	2024.3
F1	磯邊 聡	単著	あなたの質問にお答えします Q & A 「もっと生徒の話を聴けるようになりたいです」	『健』2023年9月号, 52-54. 日本学校保健研修社	2023.9
F2	磯邊 聡 (ほか10名)	共著	附属中学校における教育相談体制の充実(6) -教育相談部会への陪席とフィードバックを通じて-	令和4年度千葉大学教育学部-附属学校園連携研究成果報告書, pp1-2	2023.9.1

社会的活動

L1	千葉市スクールカウンセラー	2005.4～継続中
L2	千葉市教育委員会生徒指導調査研究委員会 委員長	2005.4～継続中
L3	非営利特定団体 生と死を考える会 スーパーバイザー	2005.6～継続中
L4	千葉市教育センター研究事業 通年講師	2006.4～継続中
L5	公益社団法人 千葉犯罪被害者支援センター 理事	2010.6～継続中
L6	千葉市子ども・若者支援協議会代表者会議 委員	2012.4～継続中
L7	千葉県警察 カウンセリング業務スーパーバイザー	2012.10～継続中
L8	千葉県子どもと親のサポートセンター支援事業部調査研究 通年講師	2012.11～継続中
L9	一般社団法人 千葉県公認心理師協会 代議員	2015.5～継続中
L10	市原市いじめ問題再調査委員会 副委員長	2016.2～継続中
L11	一般社団法人 千葉県公認心理師協会 会長	2019.5～継続中
L12	千葉少年鑑別所 地域援助スーパーバイザー	2019.8～継続中
L13	一般社団法人 日本心理臨床学会 代議員	2021.5～継続中
L14	千葉県不登校児童生徒支援連絡協議会 委員	2023.7～継続中
L15	一般社団法人 日本臨床心理士会 研修企画検討プロジェクトチーム 委員	2023.9～継続中

伊藤 裕志 (学校経営、教職員研修)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	伊藤裕志 森 美香 大野英彦 松井 聡 國吉浩二 土屋明子	共著	教員免許更新制の発展的解消に伴う取組 ～千葉大学教職大学院・公開講座を通して～	千葉大学教育実践研究第27号	2024.3
C2	中後直樹 伊藤裕志 他	共著	教職員の資質能力の向上と学びのマネジメント力の育成 ～「学びのマネジメント力向上のためのプログラム」の取組を通して～	千葉市教育センター 研究紀要第32号	2024.3

社会的活動

L1	スペシャルオリンピックス日本・千葉 会長				2020.4.～現在
L2	千葉市男女共同参画苦情処理委員				2021.4.1～現在
L3	千葉市教育センター研究「教職員の資質能力の向上と学びマネジメント力を育成するために」講師				2022.6.～現在
L4	千葉県教育研究会理科教育部会研究発表大会千葉大会 顧問				2022.12.～2023.11.
L5	高大連携授業（千葉県立千葉東高等学校）講師				2023.5.27
L6	千葉市教育センター 新任教務主任研修講師				2023.7.4
L7	高大連携授業（千葉県立千葉女子高等学校）講師				2023.9.16
L8	高大連携授業（千葉県立君津高等学校）講師				2023.10.25
L9	千葉県介護の未来案内人事業受託候補者選考会議 委員				2024.3.

大野 英彦 (学校経営)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	伊藤裕志 森 美香 大野英彦 松井 聡 國吉浩二 土屋明子	共著	教員免許更新制の発展的解消に伴う取組 ～千葉大学教職大学院・公開講座を通して～	千葉大学教育実践研究第27号	2024.3
F1	大野英彦	監修	千波県 マンガで学ぶわたしたちの海～これまでもこれからもともに生きる（千葉県内小学5年生全員配付）	千葉県教育委員会	2024.3

社会的活動

L1	令和5年度千葉県教科用図書選定審議会委員（会長）				2023.4～現在
L2	令和5年度千葉県・千葉市教員等育成協議会委員				2023.4～現在
L3	千葉県教育委員会「海の副読本」作成委員会委員（監修）				2023.7～現在
L4	千葉県教育委員会が行う事務の管理及び執行状況の自己点検・評価実施に係る点検評価委員				2022.7～現在
L5	船橋市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価にかかる協力者				2021.6～現在
L6	船橋市立宮本中学校学校運営協議会委員（副会長）				2022.4～現在
L7	市原市学校事故調査委員会委員（委員長）				2023.12～現在
L8	千葉県立高等学校 いじめ対策委員会第三者委員				2023.8～現在
L9	千葉県総合教育センター 新任校長研修講師				2022.12～現在
L10	船橋市教育委員会 校長研修講師				2023.6.2
L11	高大連携授業（県立成東高校教育基礎講座）講師				2023.7.4
L12	高大連携授業（県立安房高校教員基礎コース講座）講師				2023.9.2

笠井 孝久（教育相談、臨床心理学）

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
A1	笠井 孝久	共著	続々 移行支援としての高校教育（小野善郎・保坂亨 編著）	福村出版 pp.119-141	2023.7
C1	笠井 孝久	単著	「教員基礎コース」に対する高校生の認識	教育実践研究第26号 pp.11-19	2023.3

社会的活動

L1	千葉県子どもと親のサポートセンター 参与				2019.10～
L2	千葉市スクールカウンセラー				2022.4～
L3	高大連携出前授業（千葉県立千葉東高校）				2023.5.27
L4	高大連携出前授業（千葉県立安房高校：教員基礎コース）				2023.6.10
L5	千葉県子どもと親のサポートセンター懇話会				2023.6.21
L6	千葉県子どもと親のサポートセンター 教育相談コーディネーター養成研修 講師				2023.6.28
L7	四街道市いじめ対策協議会				2023.6.29
L8	千葉県立高校 第三者委員会				2023.8.4
L9	千葉県免許法認定講習（教育相談の理論と実際）講師				2023.8.9
L10	千葉大学公開講座 講師				2023.8.19
L11	船橋市教員研修 講師				2023.8.21
L12	白井市いじめ対策協議会				2023.9.19
L13	千葉県子どもと親のサポートセンター 教育相談上級研修 講師				2023.10.4
L14	千葉県立高校 第三者委員会				2023.1.4
L15	千葉県子どもと親のサポートセンター 教育相談上級研修 講師				2023.10.5
L16	千葉県子どもと親のサポートセンター 教育相談コーディネーター養成研修 講師				2023.10.10
L17	千葉県立高校 第三者委員会				2023.10.30
L18	千葉県立高校 第三者委員会				2023.11.28
L19	千葉県立高校 第三者委員会				2023.12.22
L20	千葉県立高校 第三者委員会				2024.1.10
L21	千葉県立高校 第三者委員会				2024.1.29
L22	千葉県子どもと親のサポートセンター懇話会				2024.2.5
L23	四街道市いじめ対策協議会				2024.2.15

國吉 浩二（生徒指導）

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	國吉浩二	単著	学生の教職への意欲向上に向けた取組 －現職教員とのグループワークをとおして－	千葉大学教育実践研究第27号	2024.3
F1	教員養成開発センター	共著	令和5年度県立千葉女子高校・安房高校・我孫子高校・君津高校・成東高校「教員基礎コース等」交流学習会報告書	教員養成開発センター	2024.3

社会的活動

L1	旭市いじめ問題対策連絡協議委員会 委員長	2022.5.25～現在
L2	千葉市いじめ問題対策調査委員会 副委員長	2022.6.4～現在
L3	高大連携事業「基礎教養講座」講師：千葉大学会場	2023.4.8
L4	高大連携授業「教員基礎講座」講師：県立安房高等学校	2023.4.15
L5	高大連携授業「教員基礎講座」講師：県立千葉女子高等学校	2022.6.10
L6	高大連携授業「教員基礎講座」講師：県立君津高等学校	2023.10.19
L7	教員免許法認定講習（生徒指導・進路指導論）講師：千葉大学会場	2023.8.17
L8	教員免許法認定講習（生徒指導・進路指導論）講師：千葉大学会場	2023.8.18
L9	市川市立第四中学校校内研修講師	2023.8.24
L10	市川市立第四中学校校内研修講師	2023.10.25

貞広 齋子 (教育行財政)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
B1	貞広齋子 他	共著	最新教育動向：必ず押さえておきたい時事ワード60&視点120 (小学校教科担任制の拡大)	明治図書出版	2023.12
B2	貞広齋子 他	共著	EBPMの組織とプロセス—データの時代の科学と政策 (第8章 学校教育)	東京大学出版会	2024.3
H1	貞広齋子	単著	(書評) 本多正人・川上康彦著『地方教育行政とその空間—分権改革期における教育事務所と教員人事行政の再編』	日本教育行政会『日本教育行政学会年報』49号、312-315頁	2023.10
H2	貞広齋子	単著	こども学習指導要領 学校教育目標ってなに？	『教職研修』(教育開発研究所) (617)	2023.12
H3	貞広齋子	単著	こども学習指導要領 授業時間数ってなに？	『教職研修』(教育開発研究所) (619)	2024.2
H4	貞広齋子	単著	チーム学年経営の実行可能性と方策—横浜市の取組から	文部科学省『学力向上に関する基盤づくり事業報告書』	2024.3

社会的活動

L1	文部科学省 中央教育審議会 委員	2021.3.9～現在
L2	文部科学省 中央教育審議会 初等中等教育部会委員	2021.4.27～現在
L3	文部科学省 中央教育審議会 教育課程部会 委員	2021.6～現在
L4	文部科学省 中央教育審議会 教員養成部会 委員	2021.6～現在
L5	文部科学省 質の高い教師の確保のための教職の魅力向上に向けた環境の在り方等に関する調査研究会 座長	2022.12.20～現在
L6	文部科学省 中央教育審議会 「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会 教員免許更新制小委員会 委員	2021.4.30～現在
L7	文部科学省 中央教育審議会 「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会 基本問題小委員会	2022.1～現在
L8	文部科学省 全国学力・学習状況調査の個票データ等の貸与に関する有識者会議委員	2018.4～現在
L9	文部科学省 教育研究開発企画評価会議協力者	2019.11.1～現在
L10	文部科学省 学力向上のための基盤づくりに関する普及・促進に関する検討委員会委員	2024.5～現在
L11	文部科学省 教育政策に関する実証調査研究事業審査委員	2018.2～現在
L12	文部科学省 COREハイスクール・ネットワーク構想企画評価会議委員	2021.1～現在
L13	文部科学省 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会 委員	2022.2.7～現在
L14	文部科学省 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する義務教育WG 委員	2022.10.17～現在
L15	文部科学省 今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 委員	2022.12.22～現在
L16	文部科学省 質の高い教師の確保のための特別部会 部会長	2024.6～現在
L17	こども家庭庁 こども家庭審議会 臨時委員	2023.4.21～現在
L18	こども家庭庁 EBPM研究会 座長	2023.6～現在
L19	国立教育政策研究所評議員会評議員	2019.2.1～現在
L20	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所運営委員	2019.10.1～現在
L21	千葉県教員委員	2019.7.9～現在
L22	千葉県青少年問題協議会 会長	2017.2～現在
L23	千葉県 私学審議会 会長代理	2016.5～現在
L24	千葉市学校教育審議会 会長	2018.7.1～現在
L25	千葉市新基本計画審議会 委員	2021.10.1～現在
L26	日本教育経営学会常任理事・紀要編集委員長	2021.6～現在
L27	日本教育制度学会常任理事	2020.11～現在
L28	日本教育政策学会常任理事	2014.7～現在
L29	日本教育行政学会理事	2019.10～現在
L30	日本教育学会法人理事	2023.8～現在

丹間 康仁 (地域教育経営、生涯学習・社会教育学)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
B1	丹間康仁	単著	地域学校協働活動の持続可能性をめぐる論点 —社会教育体制としての位置づけと展開から—	『日本教育経営学会紀要』第65号, pp.36-52	2023.6
D1	丹間康仁	単著	学校統廃合で変わる地域と学校の関係	『都市問題』第114巻第4号, pp.61-70	2023.4
H1	丹間康仁	単独	学校統廃合を切り口とした地域教育経営課題の探究	日本教育経営学会 第63回大会 若手研究者のための研究フォーラム	2023.6.2
H2	丹間康仁	単独	自治公民館論争の現在地と再展開 —「倉吉方式」の今日的状況に着目して—	日本社会教育学会 第70回研究大会	2023.9.9
I1	Yasuhito TAMMA, Lan Xiao	共同	A Comparative Study on the Educational Role of School Remains in Postearthquake Reconstruction in Taiwan and Japan	World Education Research Association 2023 Focal Meeting	2023.11.23

社会的活動

L1	千葉県教育委員会 参与	2022.5～
L2	千葉県教育委員会 キャリア教育調査研究推進協議会 委員	2023.6～
L3	千葉市社会教育委員	2022.1～
L4	船橋市社会教育委員	2022.4～
L5	習志野市社会教育委員	2022.6～
L6	柏市立図書館協議会 副会長	2021.6～
L7	日本公民館学会年報編集委員会 委員長	2022.12～

松井 聰（国際教育、教育実践）

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
K1	松井 聰	単著	[教材] いろはde歴史 light	千葉大学教育学部 松井研究室	2023.11
K2	松井 聰	単著	[教材] いろはde歴史 連結カード	千葉大学教育学部 松井研究室	2023.12
K3	松井 聰	単著	[教材] いろはde歴史 START KIT	千葉大学教育学部 松井研究室	2023.12
C1	伊藤裕志 森 美香 大野英彦 松井 聰 國吉浩二 土屋明子	共著	教員免許更新制の発展的解消に伴う取組 ～千葉大学教職大学院・公開講座を通して～	千葉大学教育実践研究 第27号	2024.3
C2	松井 聰、土屋明子	共著	「一人から始まる4人組の活動」の有効性－主体的な学びの姿に関する一考察－	千葉大学教育実践研究 第27号	2024.3

社会的活動

L1	千葉県海外子女教育国際理解教育研究会, 会長	2019.6～現在
L2	千葉県NIE推進協議会, 会長	2023.7～現在
L3	令和5年度 コミュニティ・スクール管理職研修会（我孫子市校長会）講師	2023.6.26
L4	千葉县市川市立第四中学校校内研修 講師	2023.8.24
L5	高大連携授業（千葉県立安房高等学校）講師	2023.9.16
L6	嘉義高校（台湾）日本語クラス 講師	2023.9.21
L7	千葉县市川市立第四中学校校内研修 講師	2023.10.25
L8	千葉県教育研究会船橋支会国際理解部会 講師	2023.11.15
L9	第35回ちーばNIE研修会 講師	2023.12.23

土屋 明子（学習指導・学級経営）

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	伊藤裕志 森 美香 大野英彦 松井 聡 國吉浩二 土屋明子	共著	教員免許更新制の発展的解消に伴う取組 ～千葉大学教職大学院・公開講座を通して～	千葉大学教育実践研究 第27号	2024.3
C2	松井 聡 土屋明子	共著	「一人から始まる4人組の活動」の有効性 -主体的な学びの姿に関する一考察-	千葉大学教育実践研究 第27号	2024.3

社会的活動

L1	高大連携授業（県立安房高等学校教育基礎講座）講師：県立安房高等学校	2023.4.22
L2	高大連携授業（県立千葉女子高等学校教育基礎講座）講師：県立千葉女子高等学校	2023.6.10
L3	高大連携授業（地域公開講座）講師：県立長生高等学校	2023.7.31
L4	高大連携授業（千葉県立君津高等学校）講師：県立君津高等学校	2024.1.9
L5	茂原市教育研究協議会数学部会 講師：茂原市立豊岡小学校	2023.4.21
L6	東金市立錫嶺小学校 校内研修会 講師：東金市立錫嶺小学校	2023.5.18
L7	山武市教育委員会 算数科授業実践研修会（理論編）講師：さんむわくわく館	2023.8.2
L8	山武市教育委員会 算数科授業実践研修会（実践編）講師：さんむわくわく館	2023.8.28
L9	東金市教育委員会 学力向上研修会 講師：東金市役所	2023.12.1
L10	ちばっ子学びの未来デザインシート事業業務委託に係る選考委員会 選考委員	2022.6.28
L11	「塾講師を活用した学習支援モデル事業」に係る人材派遣業務業者選定委員会 選考委員	2024.3.1

西口 雄基（教育心理学・認知臨床心理学）

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
B1	Hosono, M., Ishigaki, T., Ikeda, N., Ishikawa, R., Nishiguchi, Y., & Mizukami, K.	共著	Development of a training program on the Metacognitive Training Japanese version (MCT-J) and verification of its usefulness (査読有)	文理シナジー, 27 (2), 103-113.	2023.10
B2	Shimomura, K., Morita, K., Nishiguchi, Y., Huffman, J. C., & Millstein, R. A.	共著	Intraindividual Fluctuation in Optimism Under Daily Life Circumstances: A Longitudinal Study (査読有)	Affective Science, 1-12.	2023.11
B3	Ishigaki, T., Shimada, T., Tanoue, H., Yoshinaga, N., Nishiguchi, Y., Ishikawa, R., & Hosono, M.	共著	Reliability and validity of the Nepean Beliefs Scale for delusions and overvalued ideas in chronic schizophrenia: analysis of a preliminary pilot study. (査読有)	Frontiers in Psychiatry, 14	2023.12
H1	辻百合香・西口雄基・野田明莉・今泉修	共著	ASD傾向と聴覚及び視覚刺激の時間的統合の関連-想像力に着目した検討-	日本心理学会第87回大会 (神戸国際会議場)	2023.9
J1	辻百合香・西口雄基・野田明莉・今泉修	共著	公益社団法人日本心理学会学術大会優秀発表賞 受賞 (「ASD傾向と聴覚及び視覚刺激の時間的統合の関連-想像力に着目した検討-」に対して)	日本心理学会第87回大会	2023.1

社会的活動

L1	日本心理学会 会員	2011.4～現在
L2	日本パーソナリティ心理学会 会員	2011.4～現在
L3	日本教育心理学会 会員	2017.4～現在
L4	日本社会心理学会	2017.8～現在
L5	日本教科教育学会 会員	2020.5～現在
L6	日本パーソナリティ心理学会 広報委員会副委員長	2021.4～2023.3
L7	千葉県立高校 第三者委員会 委員	2023.1～現在

三宅 健次 (教育工学)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
K 2	三宅健次	単著	1人1台端末時代の情報モラル教育 キーワードは「主体性」と「社会性」	一般社団法人日本教育情報化振興会 ICT教育環境整備ハンドブック2023	2023.6.1

社会的活動

L1	日本学生科学賞審査員				2002～継続中
L2	千葉県少年少女科学クラブ指導員				2006～継続中
L3	全国中学高校Webページコンテスト審査員				2011～継続中
L4	千葉県教育研究会技術・家庭科部会副理事				2020～継続中
L5	筑波技術大学 教育実習に関する研修会講師				2023.7.5
L6	大阪府教育センター 情報モラル研修会講師				2023.7.21
L7	千葉県教育センター 情報モラル研修会講師				2023.7.25
L8	八幡平市教育委員会 情報モラル研修会講師				2023.7.27
L9	成田市教育委員会 情報モラル研修会講師				2023.7.31
L10	我孫子市湖北中学校他 情報モラル研修会講師				2023.8.1
L11	千葉県子どもと親のサポートセンター ネットトラブルの対応に関する研修会講師				2023.8.3
L12	広島県教育委員会 情報モラル研修会講師				2023.8.8
L13	山形市教育委員会 情報モラル研修会講師				2023.12.14
L14	一般社団法人日本教育情報化振興会主催 教育の情報化推進フォーラム パネリスト				2024.3.16

森 美香 (学級経営、教職員研修)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C 1	伊藤裕志 森 美香 大野英彦 松井 聡 國吉浩二 土屋明子	共著	教員免許更新制の発展的解消に伴う取組 ～千葉大学教職大学院・公開講座を通して～	千葉大学教育実践研究第27号	2024.3

社会的活動

L 1	高大連携授業 (千葉県立千葉女子高等学校教育基礎講座) 講師				2023.4.15
L 2	千葉県教育センター夏季研修 講師				2023.8.4
L 3	高大連携授業 (千葉県立成東高等学校教育基礎講座) 講師				2023.9.1
L 4	高大連携授業 (千葉県立安房高校教育基礎講座) 講師				2023.11.4
L 5	千葉県八千代市教育研究道德部会研修 講師				2023.11.15
L 6	千葉県君津市教育研究会道德部会研修 講師				2024.1.18
L7	日本道德教育学会 会員				2023.7～現在
L8	日本特別活動学会 会員				2023.9～現在

八木澤 史子（教育学、ICT活用、教師教育）

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
B1	八木澤史子, 安里基子, 遠藤みなみ, 佐藤和紀, 堀田龍也	共著	クラウドでの共同編集機能を用いた学習指導案の検討作業の特徴－中堅教師による若手教師への指導場面を対象に－（査読有）	教育メディア研究 29(2) 1-12	2023.3
B2	八木澤史子, 遠藤みなみ, 佐藤和紀, 堀田龍也	共著	情報端末を活用した授業における机間指導中の教師による学習の自律性の支援に関する発話の特徴（査読有）	日本教育工学会論文誌 Vol.47 Suppl.（早期公開）	2023.6
B3	堀田雄大, 八木澤史子, 佐藤和紀, 堀田龍也	共著	教員の動画視聴による研修への指向性と意識に関する実態把握（査読有）	日本教育工学会論文誌 Vol.47 Suppl.（早期公開）	2023.10
C1	八木澤史子, 安里基子, 遠藤みなみ, 大久保紀一郎, 堀田龍也	共著	1人1台の情報端末を活用した授業に関する研究の動向～2018年以降を対象に～	千葉大学教育学部研究紀要 pp.145-150	2023.3
H1	八木澤史子, 安里基子, 堀田龍也	共著	教育専門図書による学習指導案の役割および形式に関する記述についての調査	日本教育メディア学会研究会論集 第54号 pp.96-103	2023.3
H2	八木澤史子, 遠藤みなみ, 佐藤和紀, 堀田龍也	共著	児童の学習の自律性の支援に取り組む教師の机間指導における発話の傾向	日本教育工学会 2023年春季全国大会講演論文集 pp.411-412	2023.3
H3	堀田雄大, 八木澤史子, 佐藤和紀, 堀田龍也	共著	教員の研修動画の選択行動の傾向に関する調査の試み	日本教育工学会 2023年春季全国大会講演論文集 pp.159-160	2023.3
H4	八木澤史子, 安里基子, 堀田龍也	共著	学習指導案を対象とした学術論文の研究動向に関する調査	日本教育工学会研究報告集 JSET23-1 pp.151-154	2023.5
H5	堀田雄大, 八木澤史子, 三井一希, 佐藤和紀, 堀田龍也	共著	教員研修における自主的な動画視聴に関する実態把握の試み	日本教育工学会研究報告集 JSET23-2 pp.190-193	2023.7
H6	中尾教子, 八木澤史子	共著	教科書の効果的な使い方を解説した手引書の記述内容に対する小学校教師の着目点の分析	日本教育工学会研究報告集 JSET23-2 pp.194-201	2023.7
H7	若月陸央, 南條優, 八木澤史子, 佐藤和紀	共著	情報端末を活用した個別最適な学びの実践における教授行動の試行的な分析	日本教育工学会研究報告集 JSET23-2 pp.202-207	2023.7
H8	中澤美森, 八木澤史子, 佐藤和紀	共著	日常的に情報端末を活用してきた小学校低学年児童の担任となった ICT 活用に懐疑的な教師への児童の端末活用に関する意識調査	日本デジタル教科書学会第12回年次大会発表予稿集 11A3	2023.8
H9	後藤宗, 三井一希, 八木澤史子, 佐藤和紀	共著	小学校第3学年の児童を対象とした二次元コードの活用による情報収集に関する意識の分析	日本デジタル教科書学会第12回年次大会発表予稿集 11B2	2023.8
H10	後藤弘樹, 佐藤和紀, 八木澤史子, 三井一希	共著	小学校入学時に学校から求められる提出物と保護者の負担感の予備的調査	日本デジタル教科書学会第12回年次大会発表予稿集 22B3	2023.8
H11	新田梨乃, 堀田雄大, 佐藤和紀, 八木澤史子	共著	小学5年生の児童が作品の写真を他者参照する際の意識や技法に与える影響の検討－図画工作科での作品づくりの過程を対象として－	日本デジタル教科書学会第12回年次大会発表予稿集 22D1	2023.8
H12	八木澤史子, 遠藤みなみ, 佐藤和紀, 堀田龍也	共著	情報端末を活用して児童の学習の自律性の支援に取り組む教師の机間指導中の意識に関する調査	日本教育工学会 2023年秋季全国大会講演論文集 pp.391-392	2023.9
H13	八木澤史子, 中尾教子	共著	美術系教員養成課程に所属する学生を対象とした教科書の活用に関する意識の調査－教科書の活用に関する授業の実施前後の比較－	日本教育工学会研究報告集 JSET23-3 pp.1-6	2023.10
H14	後藤宗, 三井一希, 八木澤史子, 佐藤和紀	共著	小学校第3学年の児童を対象とした二次元コードの活用による情報の収集力に与える影響の検討	日本教育メディア学会第30回年次大会 pp.103-104	2023.11

社会的活動

L1	日本教育工学会研究会委員	2022.7～継続中
L2	「児童生徒の情報活用能力の把握に関する調査研究」問題作成等委員	2022.7-2023.3
L3	広島市立宇品小学校公開研究会（授業改善）講師	2022.12
L4	教科書研究センター 特別研究員	2022.12～継続中
L5	教科書研究センター 授業における教科書の使い方に関する調査研究 教員養成・研修ワーキンググループ委員	2022.12～継続中
L6	江東区立亀高小学校 校内研修会 講師	2023.3
L7	千葉市教育センター 研究協力校（ICT活用） 通年講師	2023.4-2024.3
L8	千葉市立土気南中学校 校内研修会 講師	2023.8
L9	柏市教育委員会 夏季情報活用研修 講師	2023.8